地域公共交通確保維持改善事業（新モビリティサービス推進事業）・事業評価総括表

令和5年2月22日
北海道運輸局

評価対象事業名： 令和4年度　新型輸送サービス導入支援事業（AIオンデマンド交通の導入）

①補助事業者	②事業概要	補助事業者における事業評価結果					地方運輸局等における二次評価結果	備考
		③事業実施の適切性		④目標・効果の達成状況		⑤事業の今後の改善点	評価結果	
石狩市	利便性が高く地域に適した新たな公共交通を確保するため、石狩湾新港地域及び市内交通空白地並びに交通不便地域においてAIを活用したオンデマンド交通の実証運行を行った。	A	本事業は、バスとタクシーの間を補完する利便性の高い新たな公共交通を構築するため、AIを活用した通勤オンデマンドと市内オンデマンドの2つの交通システムを乗合事業者及び乗用事業者と協働して実証運行を実施し、利用者から運行状況の確認などアプリの利便性の評価が高いことや、交通手段が増えたことで新たな目的地への移動が可能になったことから、計画に基づき適切な事業の実施ができていると思料する。	B	オンデマンド交通の利用回数(最終月)の目標合計2,900回/月は達成できない見込みだが、通勤オンデマンド交通及び市内オンデマンド交通の利用者の満足度については全て満足との結果となり、目標の70%以上の満足を大きく上回った。	本実証で得られた利用意向などを反映し、運行する時間や車両の拡大を検討して、利用者を増やすとともに、引き続き交通事業者と連携して持続可能な運行体制の構築に努める。	・自己評価のとおり、事業は適切に実施されている。 ・一部目標は未達成の見込みであるが、利用者満足度は高いことから、今後とも地域における利用者ニーズに的確に対応するとともに、実装化に向けた取組を期待する。	